

令和 7 年上半期

# 消 防 統 計

乙訓消防組合消防本部

## 令和 7 年上半期消防統計目次

消防統計の概要	・ ・ ・ ・ ・	1～4
1 火災統計		
(1) 火災概要	・ ・ ・ ・ ・	5
(2) 市町別概要	・ ・ ・ ・ ・	6
(3) 出火原因別の火災件数と損害額	・ ・ ・ ・ ・	7
(4) 月別状況	・ ・ ・ ・ ・	8
(5) 火災種別損害額	・ ・ ・ ・ ・	8
(6) 覚知方法別件数	・ ・ ・ ・ ・	8
(7) 時間帯別件数	・ ・ ・ ・ ・	9
(8) 曜日別件数	・ ・ ・ ・ ・	9
2 その他災害統計		
(1) その他災害種別の件数	・ ・ ・ ・ ・	10
(2) 市町別その他災害種別の件数	・ ・ ・ ・ ・	10
(3) 覚知方法別件数	・ ・ ・ ・ ・	11
(4) 時間帯別件数	・ ・ ・ ・ ・	11
(5) 曜日別件数	・ ・ ・ ・ ・	12
3 救助統計		
(1) 事故種別出場件数及び活動件数	・ ・ ・ ・ ・	13
(2) 市町別出場件数	・ ・ ・ ・ ・	14
(3) 事故種別救出人員	・ ・ ・ ・ ・	15
(4) 発生場所別出場件数及び活動件数	・ ・ ・ ・ ・	16
4 救急統計		
(1) 事故種別出場件数及び搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	17
(2) 年齢区分別事故種別搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	18
(3) 事故種別傷病程度別搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	18
(4) 年齢区分別傷病程度別搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	19
(5) 傷病程度別搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	19
(6) 市町別出場件数	・ ・ ・ ・ ・	20
(7) 消防署別出場件数	・ ・ ・ ・ ・	21
(8) 救急隊員が行った応急処置状況	・ ・ ・ ・ ・	22

## 消防統計の概要

### 1 火災統計

#### (1) 出火状況

ア 令和7年上半期の出火件数は16件で、前年上半期の21件に比べ5件減少となっている。火災による死者は、2人となっており、前年上半期と比べ2人の増加となっている。

火災種別では、「建物火災」が12件で前年上半期に比べ1件の増加、「林野火災」は0件で前年上半期と比べ増減なし、「車両火災」は1件で前年上半期と比べ3件減少し、「その他火災」は3件で前年上半期と比べ3件減少となっている。

〔1(1)火災概要〕

イ 市町別発生件数では、出火件数16件中、「向日市」が6件で37.5%、「長岡京市」が10件で62.5%、「大山崎町」が0件となっている。

〔1(2)市町別概要〕

ウ 月別の出火状況は、「3月」が7件で43.8%と最も多く、次いで「1月」、「2月」が各3件で18.8%、「5月」が2件で12.5%、「4月」が1件で6.3%、「6月」が0件の順となっている。

また、月別の損害額については、「3月」の27,006千円が最も多くなっている。

〔1(4)月別状況〕

エ 時間帯別件数は、「10時～12時」、が5件で最も多く、次いで「18時～20時」、が4件、「14時～16時」と「16時～18時」が各2件、「0時～2時」、「8時～10時」、「20時～22時」が各1件となっている。

〔1(7)時間帯別件数〕

オ 曜日別件数は、「土曜日」が4件と最も多く、次いで「日曜日」、「火曜日」が各3件、「月曜日」、「木曜日」が各2件、「水曜日」、「金曜日」が各1件となっている。

〔1(8)曜日別件数〕

#### (2) 出火原因

出火件数16件中、「たばこ」が4件と最も多く、次いで「こんろ」、「電気機器」、「不明」が各3件、「その他」が2件、「配線器具」が1件となっている。

〔1(3)出火原因別の火災件数と損害額〕

### (3) 損害額

ア 損害額は、36,313 千円となっており、前年上半期に比べ 1,843 千円増加している。内訳としては、「建物火災」による損害額が 2,293 千円の増加、「車両火災」による損害額が 283 千円減少、「その他火災」による損害額が 167 千円の減少となっている。

〔 1(1)火災概要〕

イ 火災種別損害額は、「建物火災」が 36,284 千円で 99.9%となっており、次いで「その他火災」が 29 千円で 0.1%となっている。

〔 1(5)火災種別損害額〕

### (4) 覚知方法別件数

覚知方法別件数は 16 件中、「火災報知専用電話」(119 番)が 11 件で 68.8%、次いで「事後聞知」(消防が鎮火後に覚知したもの。爆発の場合は、消防機関が実際に出火又は再爆発の危険がなくなったと推定又は認定した時分が、覚知時分以前のもの)が 5 件で 31.3%となっている。

〔 1(6)覚知方法別件数〕

## 2 その他災害統計

(1) その他災害の発生件数は 12 件で、前年上半期と比べ 7 件増加している。

災害種別の発生件数は、「交通」が 6 件で 50%、次いで「危険物」が 5 件で 41.7%、「ガス・酸欠」が 1 件で 8.3%となっている。

〔 2(1)その他災害種別の件数〕

(2) 市町別の発生件数は、「向日市」が 3 件、「長岡京市」が 8 件、「大山崎町」は 1 件となっている。

〔 2(2)市町別その他災害種別の件数〕

(3) 覚知方法別の発生件数は、「その他」が 5 件で 41.7%、「火災報知専用電話(119 番)」が 3 件で 25%、「加入電話(携帯電話から)」が 2 件で 16.7%、「加入電話(固定電話から)」と「駆け付け通報」が 1 件で 8.3%となっている。

〔 2(3)覚知方法別件数〕

(4) 時間帯別の発生件数は、「8 時～10 時」と「10 時～12 時」が各 3 件で、次いで「4 時～6 時」と「時間不明」が各 2 件、「6 時～8 時」と「14 時～16 時」が各 1 件となっている。

〔 2(4)時間帯別件数〕

(5) 曜日別の発生件数は、「木曜日」が 4 件と最も多く、次いで「金曜日」が 3 件、「土曜日」が 2 件、「月曜日」と「火曜日」と「日曜日」が各 1 件となっ

ている。

〔2(5)曜日別件数〕

### 3 救助統計

#### (1) 出場件数及び活動件数

救助活動の状況は、出場件数が45件、活動件数は33件で前年上半期に比べると出場件数については13件の増加、活動件数については前年上半期の8件の増加となっている。

〔3(1)事故種別出場件数及び活動件数〕

#### (2) 市町別件数

出場件数を市町別でみると、「向日市」17件、「長岡京市」22件、「大山崎町」5件、「その他」1件となっている。

〔3(2)市町別出場件数〕

#### (3) 救出人員

事故種別救出人員は29人で、前年上半期に比べると6人増加している。

事故種別の内訳は、「建物等による事故」が16人、「その他の事故」が6人、「交通事故」が5人、「火災建物」と「ガス及び酸欠事故」が各1件となっている。

〔3(3)事故種別救出人員〕

#### (4) 発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所別出場件数の内訳は、「住居」が23件（うち活動あり21件）、次いで「その他の道路」が12件（うち活動あり5件）、「その他の屋外」が3件（うち活動あり3件）、「その他」が2件（うち活動あり1件）、「山岳」が1件（うち活動あり1件）、「高速道路国道」が1件となっている。

〔3(4)発生場所別出場件数及び活動件数〕

### 4 救急統計

#### (1) 出場件数及び搬送人員

出場件数は4,005件で前年上半期に比べ274件の増加、搬送人員については3,677人で前年上半期に比べ228人の増加であり、1日あたりの出場件数は22.1件、搬送人員は20.3人となっている。

〔4(1)事故種別出場件数及び搬送人員〕

#### (2) 事故種別

事故種別出場件数は、「急病」が2,669件で66.6%、次いで「一般負傷」が708件で17.7%、「その他」が388件で9.7%、「交通事故」が240件で6%となっている。

〔 4(1)事故種別出場件数及び搬送人員〕

(3) 年齢区分

ア 年齢区分別事故種別の搬送人員は、「急病」では搬送人員 2,472 人中 1,673 人が「高齢者」で 67.7%、次いで「成人」が 586 人で 23.7%、「乳幼児」が 146 人で 5.9%、「少年」が 64 人で 2.6%となり、全体の半数以上を「高齢者」が占めている。

〔 4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

イ 「交通事故」では、搬送人員 227 人中 142 人が「成人」で 62.6%、次いで「高齢者」が 59 人で 26%、「少年」が 19 人で 8.4%、「乳幼児」が 7 人で 3.1%となっている。

〔 4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

ウ 「一般負傷」では、搬送人員 650 人中 518 人が「高齢者」で 79.7%、次いで「成人」が 74 人で 11.4%、「乳幼児」が 48 人で 7.4%、「少年」が 10 人で 1.5%となっている。

〔 4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

(4) 事故種別傷病程度別搬送人員

傷病程度別搬送人員では、搬送人員 3,677 人中 1,856 人が「軽症」で 50.5%、次いで「中等症」が 1,518 人で 41.3%、「重症」が 256 人で 7%、「死亡」が 47 人で 1.3%となっている。

〔 4(3)事故種別傷病程度別搬送人員〕

(5) 市町別出場件数

市町別出場件数では、「向日市」が 1,414 件で 35.3%、「長岡京市」が 2,204 件で 55%、「大山崎町」が 369 件で 9.2%、「乙訓管外」が 18 件で 0.4%となっている。

〔 4(6)市町別出場件数〕

(6) 消防署別出場件数

消防署別出場件数では、「向日消防署」が 1,302 件で 32.5%、「長岡京消防署」が 1,308 件で 32.7%、「大山崎消防署」が 688 件で 17.2%、「長岡京消防署東分署」が 707 件で 17.7%となっている。

〔 4(7)消防署別出場件数〕

※ 本文中のパーセント(%)表示の数値については、小数点第 2 位を四捨五入しているため、実際の数値とは合致しない場合があります。

# 1 火災統計

## (1) 火災概要

区	分	単 位	令和7年上半期	令和6年上半期	増減(△印減)
出火件数	建物		12	11	1
	林野				
	車の両		1	4 (3)	△ 3 △(2)
	その他の		3	6	△ 3
	計	件	16	21 (2)	△ 5 △(2)
焼損棟数	全焼		3	3	
	半焼		1	2	△ 1
	部分焼		2	5	△ 3
	ぼや		6	11	△ 5
	計	棟	12	21	△ 9
焼損床面積		m <sup>2</sup>	298	188	110
焼損表面積		m <sup>2</sup>	62	93	△ 31
林野焼損面積		a			
死者		人	2		2
負傷者		人	23	4	19
り災世帯数	全損		7	1	6
	半損			1	△ 1
	小損		23	9	14
	計	世帯	30	11	19
り災人員		人	30	29	1
損害額	建物		36,284	33,991	2,293
	林野				
	車の両			283 (60)	△ 283 (△60)
	その他の		29	196	△ 167
	計	千円	36,313	34,470 (60)	1,843 (△60)
出火率		件／人口1万人	1.0	0.9	0.1

※ 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

※ 出火率とは、人口1万人当りの出火件数をいう。

※ ( )内は高速道路の火災を表す。

## (2) 市町別概要

区	分	単 位	向日市	長岡京市	大山崎町
出火件数	建物 林野 車両 その他		6	6	
	計	件	6	10	
焼損棟数	全焼 半焼 部分焼 損		3 1 3	3 4	
	計	棟	7	7	
焼 損 床 面 積		m <sup>2</sup>	293	5	
焼 損 表 面 積		m <sup>2</sup>	60	2	
林 野 焼 損 面 積		a			
死 者		人	2		
負 傷 者		人	12	11	
り災世帯数	全損 半損 小損		7 12	11	
	計	世帯	19	11	
り 災 人 員		人	19	11	
損害額	建物 林野 車両 その他		34,958	1,299	
	計	千円	34,958	1,328	
出 火 率		件/人口1万人	1.1	1.2	

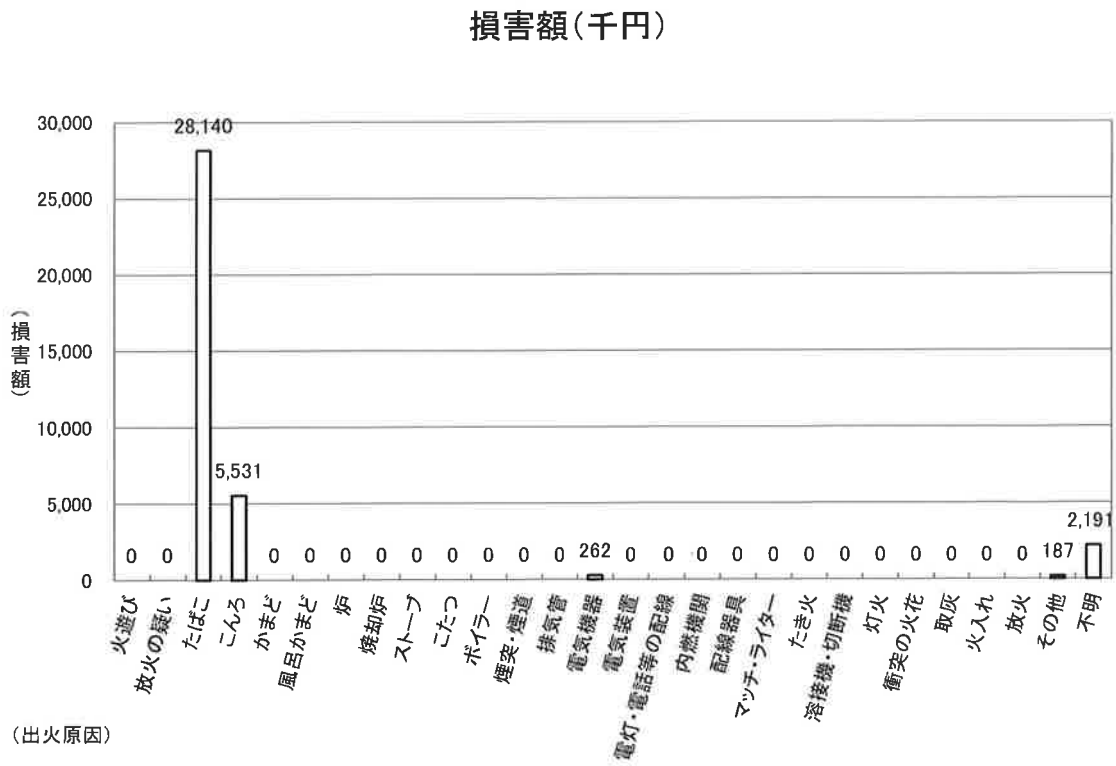
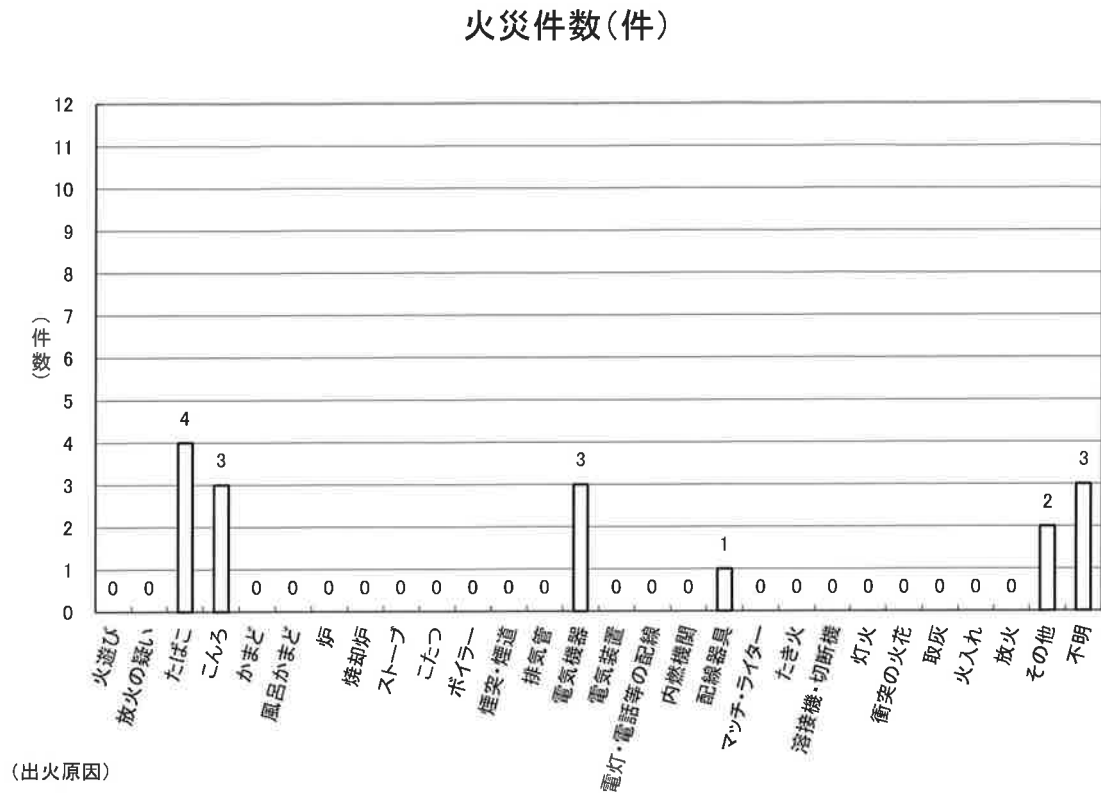
※ 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

※ 出火率とは、人口1万人当りの出火件数をいう。

※ ( )内は高速道路の火災を表す。



### (3) 出火原因別の火災件数と損害額



#### (4) 月別状況

月別	区分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
1	月	3	18.8	1,042	2.9
2	月	3	18.8	5,560	15.3
3	月	7	43.8	29,711	81.8
4	月	1	6.3		
5	月	2	12.5		
6	月				
合 計		16	100.0	36,313	100.0

※割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

#### (5) 火災種別損害額

火災種別	区分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
建 物 火 災		12	75.0	36,284	99.9
林 野 火 災					
車 両 火 災		1	6.3		
そ の 他 の 火 災		3	18.8	29	0.1
合 計		16	100.0	36,313	100.0

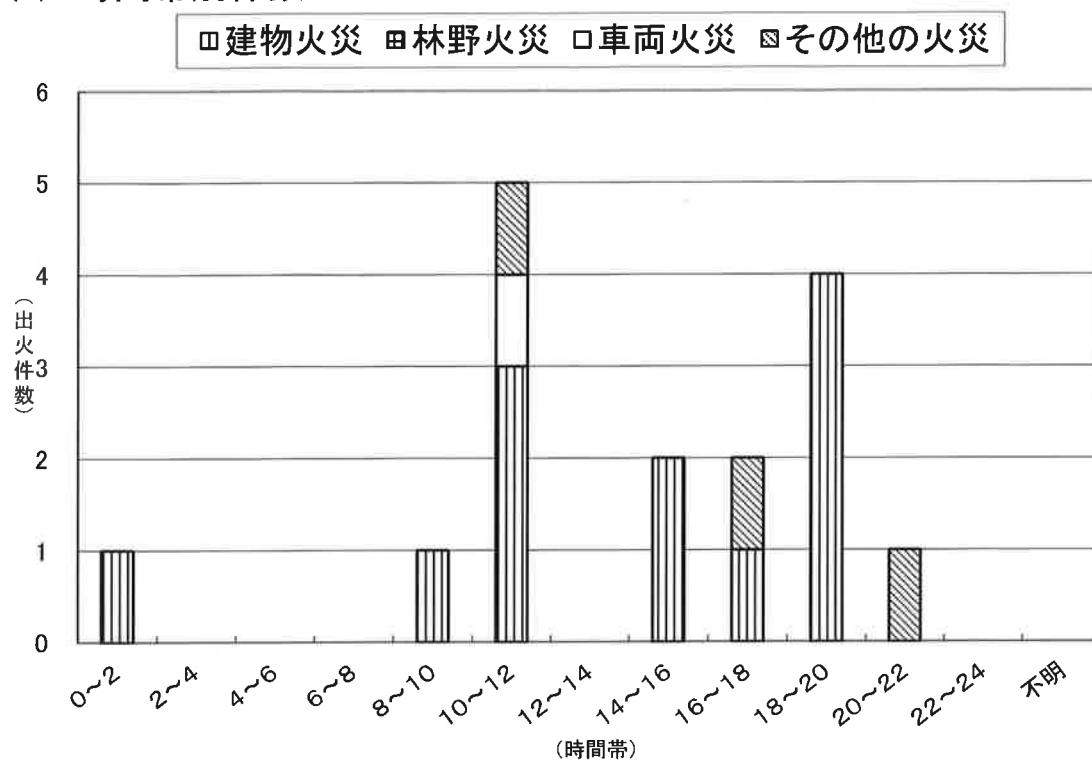
※割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

#### (6) 覚知方法別件数

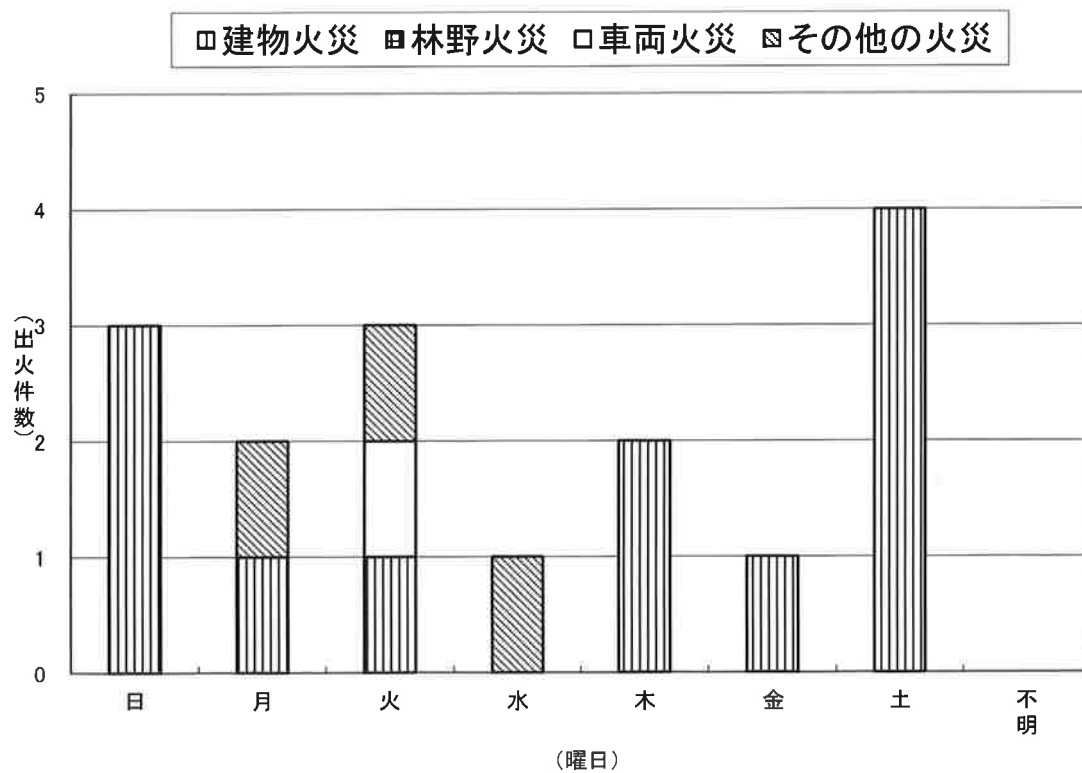
覚知方法	区分	出火件数 (件)	構成比 (%)
火災報知専用電話 固定電話から(NTT加入電話を除く)			
火災報知専用電話 固定電話から(NTT加入電話)		2	12.5
火災報知専用電話 携帯電話から		9	56.3
加入電話(固定電話から)			
加入電話(携帯電話から)			
警察 電 話			
駆け付け通報			
事後 聞 知		5	31.3
そ の 他			
合 計		16	100.0

※ 構成比については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

### (7) 時間帯別件数



### (8) 曜日別件数



## 2 その他災害統計

### (1) その他災害種別の件数

種 別 \ 年	令和7年上半期	令和6年上半期	増減(△印減)
交 通	6	2	4
水 難			
自 然			
機 械			
危 険 物	5	3	2
建 物 等			
ガ ス ・ 酸 欠	1		1
爆 発			
そ の 他			
計	12	5	7

### (2) 市町別その他災害種別の件数

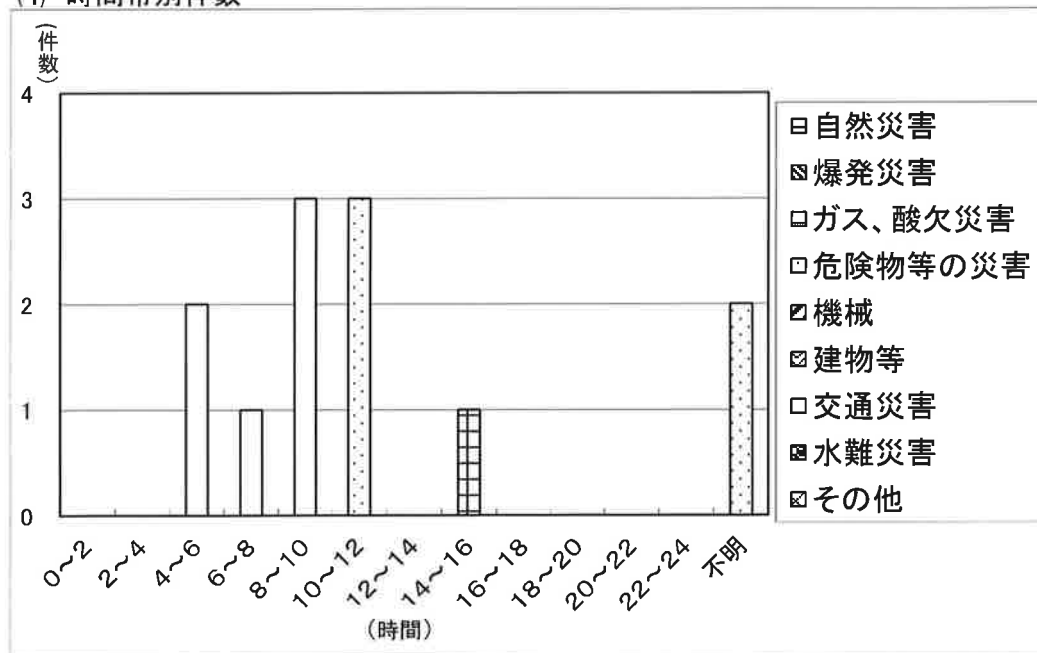
種 別 \ 市 町 別	向日市	長岡京市	大山崎町
交 通	1	4	1
水 難			
自 然			
機 械			
危 険 物	1	4	
建 物 等			
ガ ス ・ 酸 欠	1		
爆 発			
そ の 他			
計	3	8	1

(3) 覚知方法別件数

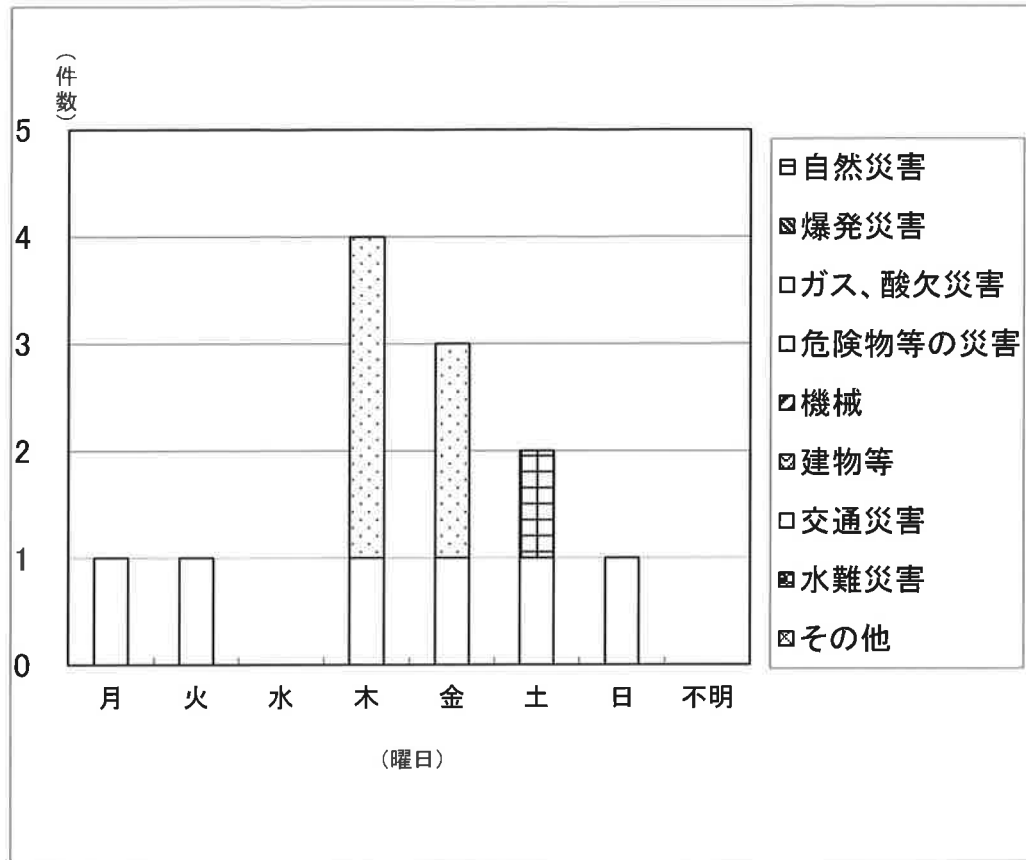
覚知方法	区分	災害件数 (件)	構成比 (%)
火災報知専用電話(固定電話から)			
火災報知専用電話(携帯電話から)		3	25.0
火災報知専用電話(IP電話から)			
加入電話(固定電話から)		1	8.3
加入電話(携帯電話から)		2	16.7
警 察 電 話			
駆 け 付 け 通 報		1	8.3
事 後 聞 知			
そ の 他		5	41.7
合 計		12	100

※ 構成比については小数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

(4) 時間帯別件数



(5) 曜日別件数



### 3 救助統計

#### (1) 事故種別出場件数及び活動件数

件数区分 事故種別		令和7年上半期		令和6年上半期		増減(△印減)	
		出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数
火 災	建 物	4	4	1	1	3	3
	建物以外						
交 通 事 故		13 (1)	5 (1)	4 (1)	1 (1)	9	4
水 難 事 故		1	1			1	1
風水害等自然災害							
機 械 に よ る 事 故				2		△ 2	
建 物 等 に よ る 事 故		17	16	21	21	△ 4	△ 5
ガス及び酸欠事故		1	1			1	1
爆 発 事 故							
そ の 他 の 事 故		9	6	4	2	5	4
計		45 (1)	33 (1)	32 (1)	25 (1)	13	8

※ ( )内は、高速道路救助出場件数を表す。

## (2) 市町別出場件数

市町別 事故種別		向日市	長岡京市	大山崎町	その他の市町	計
火 災	建 物	3	1			4
	建物以外					
交 通 事 故		1	9	2	1 (1)	13 (1)
水 難 事 故				1		1
風 水 害 等 自 然 災 害						
機 械 に よ る 事 故						
建 物 等 に よ る 事 故		9	7	1		17
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		1				
爆 発 事 故						
そ の 他 の 事 故		3	5	1		9
計		17	22	5	1 (1)	45 (1)

※ ( )は、高速道路救助出場件数を表す。



### (3) 事故種別救出人員

<div> <div></div> <div>年別</div> <div>事故種別</div> </div>		救 出 人 員		
		令和7年上半期	令和6年上半期	増 減 ( △ 印 減 )
火 災	建 物	1		1
	建 物 以 外			
交 通 事 故		5		5
水 難 事 故				
風 水 害 等 自 然 災 害				
機 械 に よ る 事 故				
建 物 等 に よ る 事 故		16	21	△ 5
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		1		1
爆 発 事 故				
そ の 他 の 事 故		6	2	4
計		29	23	6

※ ( ) は、高速道路救助出場における救出人員を表す。

#### (4) 発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所			件数区分		令和7年上半期		令和6年上半期		増減(△印減)	
			出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数		
屋内	住居		23	21	22	21	1			
	その他の屋内									
屋外	道路	高速道路国道	1		1					
		その他の道路	12	5			12	5		
	水面	内水面	3	2			3	2		
		外水面								
	山岳		1	1	1	1				
	その他の屋外		3	3	7	3	△4			
	地下									
その他		2	1	1		1	1			
計			45	33	32	25	13	8		

※ 内水面－河川・湖沼・池・プール等内陸における水上又は水中(ただし、河川敷やプールのシャワー室等は含まない。)

※ 外水面－上記以外の水上又は水中

## 4 救急統計

### (1) 事故種別出場件数及び搬送人員

年別等	令和7年		令和6年		増減(△印減)	
件数等 事故種別	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
火 災	4 (0)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	△ 1 (0)
自 然 災 害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
水 難	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交 通 事 故	240 (6)	227 (6)	222 (5)	207 (3)	18 (1)	20 (3)
労 働 災 害	24 (0)	26 (0)	20 (0)	20 (0)	4 (0)	6 (0)
運 動 競 技	34 (0)	33 (0)	45 (0)	45 (0)	△ 11 (0)	△ 12 (0)
一 般 負 傷	708 (0)	650 (0)	701 (0)	652 (0)	7 (0)	△ 2 (0)
加 害	17 (0)	15 (0)	7 (0)	6 (0)	10 (0)	9 (0)
自 損 行 為	18 (0)	13 (0)	30 (0)	22 (0)	△ 12 (0)	△ 9 (0)
急 病	2,669 (2)	2,472 (2)	2,452 (2)	2,298 (1)	217 (0)	174 (1)
そ の 他	291 (1)	240 (0)	251 (0)	197 (0)	40 (1)	43 (0)
計	4,005 (9)	3,677 (8)	3,731 (7)	3,449 (4)	274 (2)	228 (4)
一日平均件数	22.1	20.3	20.5	19.0	1.6	1.4

注：( )内は、「うち高速道路救急出場件数及び搬送人員」を表す。

## (2) 年齢区別事故種別搬送人員

事故種別 年齢区分	急 病	交通事故	一般負傷	その 他	計
新 生 児	3	0	0	2	5
乳 幼 児	146	7	48	2	203
少 年	64	19	10	26	119
成 人	586	142	74	114	916
高 齢 者	1,673	59	518	184	2,434
計	2,472	227	650	328	3,677

※ 新生児：生後28日未満

乳幼児：生後28日以上満7歳未満

少年：満7歳以上満18歳未満

成人：満18歳以上満65歳未満

高齢者：満65歳以上

## (3) 事故種別傷病程度別搬送人員

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その 他	計
急 病	45	173	1,078	1,176	0	2,472
交 通 事 故	0	6	37	184	0	227
一 般 負 傷	1	44	200	405	0	650
そ の 他	1	33	203	91	0	328
計	47	256	1,518	1,856	0	3,677

※ 死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの

重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので、重症に至らないもの

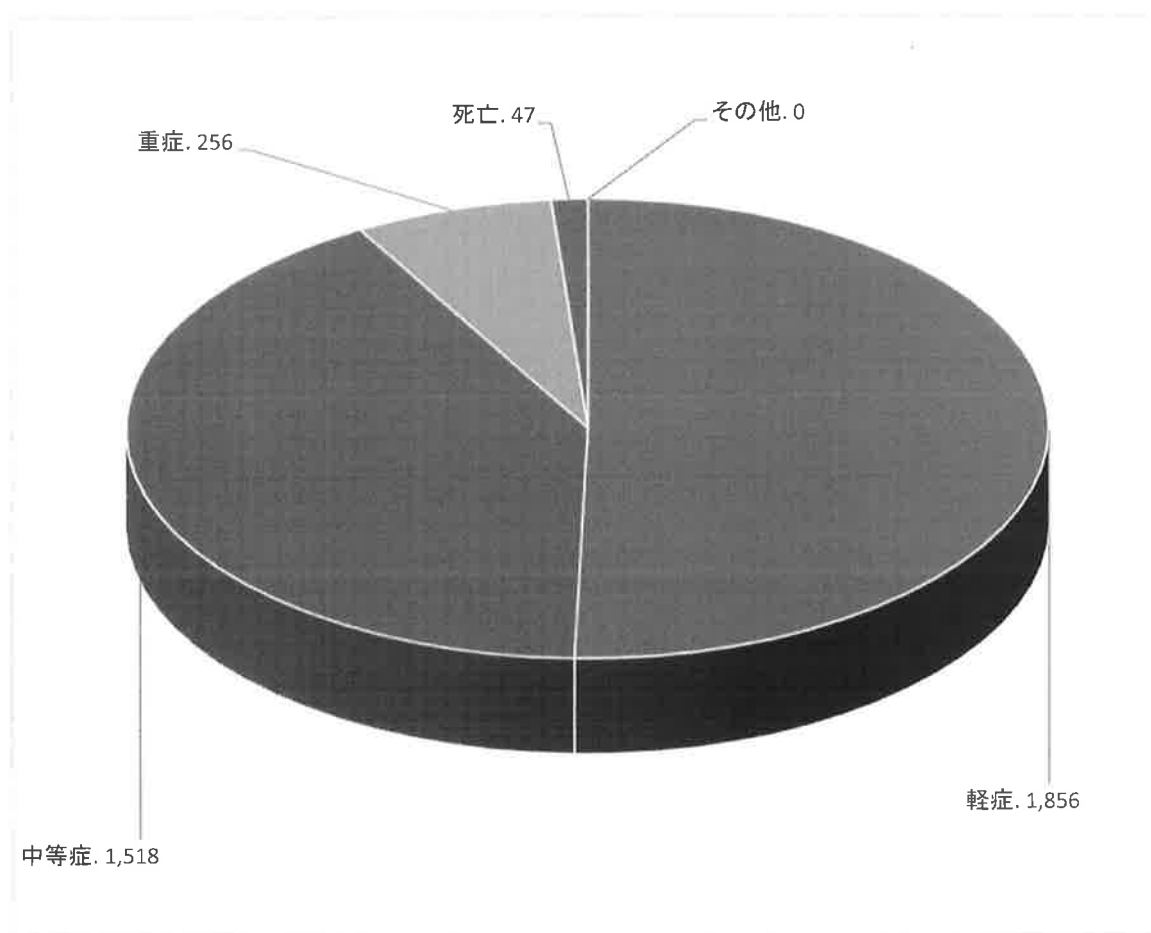
軽 症：傷病の程度が入院を必要としないもの

その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所（接骨院等）」へ搬送したもの

#### (4) 年齢区分別傷病程度別搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡	0	0	0	5	42	47
重症	0	0	1	43	212	256
中等症	5	38	26	241	1,208	1,518
軽症	0	165	92	627	972	1,856
その他	0	0	0	0	0	0
計	5	203	119	916	2,434	3,677

#### (5) 傷病程度別搬送人員



(6) 市町別出場件数

地域名		事故種別	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計
向 日 市	7年		974 (0)	89 (0)	258 (0)	93 (0)	1,414 (0)
	6年		934 (0)	102 (0)	246 (0)	98 (0)	1,380 (0)
増 減 ( △ 印 減 )			40 (0)	△ 13 (0)	12 (0)	△ 5 (0)	34 (0)
長岡京市	7年		1,437 (0)	111 (1)	384 (0)	272 (1)	2,204 (2)
	6年		1,256 (1)	90 (0)	385 (0)	233 (0)	1,964 (1)
増 減 ( △ 印 減 )			181 (△ 1)	21 (1)	△ 1 (0)	39 (1)	240 (1)
大山崎町	7年		254 (1)	30 (4)	64 (0)	21 (0)	369 (5)
	6年		255 (0)	20 (2)	68 (0)	23 (0)	366 (2)
増 減 ( △ 印 減 )			△ 1 (1)	10 (2)	△ 4 (0)	△ 2 (0)	3 (3)
京 都 市	7年		2 (0)	7 (0)	2 (0)	2 (0)	13 (0)
	6年		6 (0)	7 (0)	2 (0)	1 (0)	16 (0)
増 減 ( △ 印 減 )			△ 4 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	△ 3 (0)
島 本 町	7年		2 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)
	6年		0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
増 減 ( △ 印 減 )			2 (1)	2 (0)	0 (0)	△ 1 (0)	3 (1)
そ の 他	7年		0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	6年		1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	4 (4)
増 減 ( △ 印 減 )			△ 1 (△ 1)	△ 2 (△ 2)	0 (0)	0 (0)	△ 3 (△ 3)
合 計	7年		2,669 (2)	240 (6)	708 (0)	388 (1)	4,005 (9)
	6年		2,452 (2)	222 (5)	701 (0)	356 (0)	3,731 (7)
増 減 ( △ 印 減 )			217 (0)	18 (1)	7 (0)	32 (1)	274 (2)

注：( )内は、「うち高速道路救急出場件数」を表す。

## (7) 消防署別出場件数

事故種別 消防署名		急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計
向日消防署	7年	887	70	237	108	1,302
	6年	821	82	218	97	1,218
増減(△印減)		66	△ 12	19	11	84
長岡京消防署	7年	893	54	221	140	1,308
	6年	765	58	256	132	1,211
増 減 ( △ 印 減 )		128	△ 4	△ 35	8	97
東 分 署	7年	449	69	138	51	707
	6年	415	43	121	53	632
増 減 ( △ 印 減 )		34	26	17	△ 2	75
大山崎消防署	7年	440	47	112	89	688
	6年	451	39	106	74	670
増 減 ( △ 印 減 )		△ 11	8	6	15	18
合 計	7年	2,669	240	708	388	4,005
	6年	2,452	222	701	356	3,731
増 減 ( △ 印 減 )		217	18	7	32	274

(8) 救急隊員が行った応急処置状況

処置事項	事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計
	応急処置対象人員	2,472	227	650	328	3,677
止 血		14	14	35	8	71
固 定		4	50	31	8	93
人 工 呼 吸		14	0	0	2	16
心 マ ッ サ ー ジ		0	0	0	0	0
心 肺 蘇 生		70	2	3	2	77
酸 素 吸 入		491	17	36	82	626
気 道 確 保		104	3	10	4	121
	経 鼻 エ ア ウ ェ イ	2	0	1	0	3
	喉 頭 鏡 、 鉗 子 等	0	0	0	0	0
	ラ リ ン ゲ ア ル マ ス ク 等	14	0	0	0	14
	気 管 挿 管	5	0	1	0	6
保 温		96	5	14	16	131
被 覆		9	50	131	12	202
在 宅 医 療		81	0	7	3	91
除 細 動		2	0	1	0	3
静 脈 路 確 保		26	0	2	2	30
薬 剤 投 与		19	0	2	0	21
ブ ド ウ 糖 投 与		2	0	0	0	2
そ の 他 の 応 急 処 置		2,444	225	644	321	3,634
血 圧 測 定		2,349	224	617	321	3,511
聴 診 器 に よ る 聴 取		1,255	88	204	93	1,640
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定		2,406	226	646	326	3,604
心 電 図 測 定		967	24	80	60	1,131
計		10,353	928	2,463	1,260	15,004

注： 一人につき複数の応急処置を行う事もあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の係数とは一致しない。